ロータリーは機会の扉を開く

第2443号

高知東ロータリークラブ 週報

4月14日.2021

本日　4月14日㈬12:30 ザ クラウンパレス新阪急高知
会員スピーチ
「ロータリアンオリバー先生のその後」
佐野　博三 会員

次週　4月21日㈬12:30 ザ クラウンパレス新阪急高知
会員スピーチ
「酒類業界の『過去・現在・未来』」
鬼田　知明 会員

第2489回　例会報告／令和３年３月31日　天候　晴

◇ロータリーソング
「我らの生業」

◇会　長　挨　拶

皆さん、こんにちは。今日で３月も終わりです。年度末の大変お忙しい中、このようにたくさんの皆さんにお集まりいただき、心から嬉しく思います。ありがとうございます。

ロータリーには、ロータリアンとロータリー家族というのがあります。皆さんのご家族もロータリー家族で私たちの仲間です。３月28日、めでたく１人メンバーが増えました。森田君のところに第３子（ご長男）が生まれましたので、お祝いしたいと思います。

先日、ある方が101歳で亡くなられました。私は、お孫さんと親しくお付き合いさせていただいていますが、最近までゴルフを楽しんでおられたそうです。95歳のとき、車でゴルフに出かけようとするので、家族で止めようとすると「迎えに行く約束をしてるから、車で行かにゃいかん」と行ってしまったそうです。できれば、そういったアクティブな人生を送れたらいいなと思うのですが、はて自分は？ということになると…。

先日、久礼に遊びに行って砂浜で孫と石を持って水切りをしようとしたところ、キャッチボールはできるのですが、水切りはアンダースローですからなかなかうまく投げられません。少し練習して工夫をしながら、一応水をきれいに切ることができ、面目躍如というか名誉を保ったわけですが、還暦というのはこんなものかなと、年とともに肩の稼働域が狭くなっていることを感じて、体も鍛え直さないといけないかと思った出来事でした。

どんな仕事でも、初対面の方と込み入った話をしなければいけない場面に出くわすと思います。私も職業柄、まぁまぁ重たい話をしなければいけないことがあります。説得する立場ではありませんが、気分を壊さないように穏便に、けれども、目的とする結論に導いていけるように日頃苦心をしていますが、皆さんは、経験や知識を蓄えてのノウハウは十分にお持ちだと思います。

第一印象が大事だということもよく聞きます。ですから、私もできるだけ身なりや資料を整え、道具もきちんとしたものを揃えて、ちゃんとした仕事をしているといった形を見せることを心がけていますが、その中で、日本人特有の年長者に対するリスペクトというのがあって、逆にいうと若い者はなめられるというところがあります。この仕事の関係は、年配の方が多く、私たちの話はまともに聞いてくれないときもあります。ですから、ある程度、年を取っているように見えた方がいいかなと思い、白髪はあまり隠さず、50歳を迎えたとき白髪を染めるのをやめました。ただ、現役を退いたら、真っ黒な髪になっているかもしれませんが。現場で関係している人から

は、私の背中はそういう形で見られているのかなと考えて、仕事をしています。

年を重ねるということ、肩が回らないこと、肩肘を張ること、いろいろ兼ね合わせて話を構成してみましたが、伝わったでしょうか。

今日の卓話は寺村会員です。楽しみにしています。

◇幹　事　報　告

- 地区指名委員会により、2023－24年度ガバナーに、徳島ＲＣの吉岡宏美氏が推薦されました。
- 本日例会終了後、役員会を行います。

◇会員スピーチ　　寺村　　勉 会員

「業界への挑戦・ブランディング」

うちの店は、明治33年に初代が町の指物大工として始めています。指物大工というのは、釘を使わずに、桐のタンスやモロブタなどをつくる大工のことです。当時の宣伝は、非常に派手で、アルバムを見ると、今だと改造車として捕まるのではないかと思われるようなオート三輪に手づくりの看板をつくったり、環境問題など関係なくセスナでチラシをまいたり、そんなことが当たり前の時代でした。

昭和40年代は、まだ土葬棺が売れていた時代で、家具と土葬を展示する場所を少し離れた場所につくっています。その後、高度経済成長期のど真ん中、まさに車社会となり、町の役場や学校、商工会、農協などの建物がバイパス沿いに移転します。うちもルーツテラムラという家具屋というビルを建てて、物を仕入れてそこで販売をする。そして、もともとの建物では仏壇、仏具、お棺を売りながら、昭和60年葬祭スペースをつくりました。当時としては画期的なことだったと思います。

私は勉強が嫌いで、高校を中退して大阪へ行って土木の仕事をしたり、京都で葬儀の勉強したりしながら24歳で高知へ帰ってきました。そこで最初にしたのが京都で勉強した葬儀の仕事です。お茶やおしぼりを出すようになったのは、うちが高知で初めてでした。当時の社員は数人でしたが、今はパートを入れると約70名。24時間体制を始めたのもこのころです。名刺を出すのも恥ずかしかったし、テレビＣＭをお願いしにテレビ局にいくと、病院とモーテルと葬儀社はＣＭはできませんと断られるような時代でした。顧客管理についても、このころから手書きでスタートしました。

昭和63年、父がクモ膜下出血で急逝。私は30歳で、意図せずにいきなり社長になりました。当時は、葬祭会館という言葉もありませんでしたが、何とか高知にほしいなと意識しながら、開発構想をつくってもらいました。このとき相談したのが、前田　博会員で、以来、私にとっては本当に大切な存在となります。前田さんの提案で、マーケティング、グラフィックデザイナー、コピーライター、インテリア、環境プランナー、ＣＭディレクター等々の役を５人のメンバーが請け負って、１年半で仕上げていただきました。様々な視点から葬儀とは、場所は、環境は、どうすれば心が動くかといったことを一から考え直しながらの開発計画で、ここで、今でも私が大切にしている「心象」というコンセプトが出てきます。心象というテーマが決まると、自然に建物のネーミングやロゴマークがスタッフからでてきて「心月記」が生まれます。33年前のことです。当時は画期的なことでしたので、業界の本にも取り上げられて特集も組まれました。

「心象」というテーマが決まり、自然に葬祭業から心象産業へとシフトしていきます。

形も大きく４つ変わりました。ハード施工型からソフト提案型へ。音楽や写真、花を選んでその人らしい葬儀に変わっていきます。電話を待っているだけの受注型から、葬祭フェアをしたり、営業ツールの作成、生前相談等々を受ける窓口、情報発信といった形に変わります。固定的サービスからサービスの多元化。お茶、おしぼり、司会進行といった部分から葬祭コンシェルジュへ。終活カウンセラー、葬儀後のアフターフォロー。単発的表現から総合的表現へ。お別れの会、ホテルでの会食をするホテル葬等々。

（コマーシャルの変遷を上映）

ルーツテラムラも、現在は仕入れをして物を置いて販売するのではなくて、インターネットを中心にやっています。

昭和63年の社長就任から平成30年までの30年間は、どんどんハードを手掛けてきました。併せて、ソフトの部分、社員教育もしないといけません。心構え・心が前、いわゆる技術や知識であるよりも、まずは一人の人間として、しっかりと人の話を聞き、サポートをしていきましょうと、一つ一つが心の仕事だということで、現在も取り組んでいます。

映画で「おくりびと」が放映されましたが、その中で、私にとってすごくありがたかったシーンを少し見てください。この映画ができてから、名刺を出すことも恥ずかしかった時代から一気に葬儀社のやりがいというものが上がってきたと思います。こういったことを経験してきた中で、「だからこそ人間企業」というのが、現在のうちの会社の企業理念が生まれ、現在も大事にしています。

次に、地域との関わりについて。地域とともに生きるというネーミングの下、110周年のときには、劇団かかし座の「星の王子さま」に子どもたちを招待しました。企業の社会的責任の部分では、ＣＳＲというのは、企業活動そのものだと思っています。ですから、場当たり的にやる活動ではなくて、経営者も社員も顧客も地域と一緒に協働してやっていくことが、私のＣＳＲだと考えています。

えびす商店街の空き店舗を利用して、地域コミュニティをつくって、お年寄りから小学生まで一緒に遊んだり、チャレンジショップで若者の育成、山田駅前のアンパンマンのデザインの建物も行政と一緒に、まちづくりの一環で作りました。

ＳＤＧｓについて。基本的にＳＤＧｓは、環境があって社会があって経済があるという考え方です。ＳＤＧｓは、ビジネスの利益追求を通して持続可能な社会に貢献していきましょうというものです。ロータリーは、環境保護を含めて七つの重点項目があって、もともとＳＤＧｓをやっているよねということが分かると思います。ここにロータリーの意義があるように思います。私どもでもＳＤＧｓの発信もしなければいけないと、いろいろ調べていますが、防災士も２人しかいませんし、手話を取得した社員も１名ですので、まだまだ強化をしていかなければいけないと思っています。

1900年の創業から、121年目を迎えた今年、テラムラは「エンドデザイン」という独自の言葉と新しい考え方を携えて次なる10年に向かっていこうと考えています。それぞれの人生は、間違いなくその人がつくってきた、デザインしたものだと改めて思います。その人の力になることが次のテラムラがやれることだろうと思っています。そして、200年企業として生き延びることを葬儀社として考え、「整える」ということをキーワードにスタートをしようとしています。人生を整える、生きるを整える、心を整えるといったことを葬家の方と考え、私自身が家族の一人だと思いながらサポートできたらと思っています。

◇出席率報告

	総数	出席	欠席	メイクアップ	HC出席率	出席率
3月31日	−4 55	41	7	3	74.55%	86.27%
3月17日	ロータリー休日					

ニコニコ箱

• **西森やよい**　単身赴任していた夫が沖縄から無事に戻ってまいりました。沖縄ナンバーのヴォクシーが走っていたら、うちの車かもしれません。温かくお見守りください。

・前田美智子　お父ちゃんが作った「榧オイル」が全国のマツモトキヨシで販売ができて、高知新聞さんが取り上げてくださいました。２時間の取材を短いコラムにまとめてくださり、しかも無料でカラー写真で掲載していただき、とてもありがたく感謝しています。

・永野正将　本日レターボックスに増田会員のシールをいれておりますが「はがしにくい」とクレームをいただきました。申し訳ありません。特殊な作り方をしており、手でははがしにくいシールですので、カッターの刃先ではしっこを浮かせると貼りやすくなります。よろしくお願いします。

・西村美香　社会奉仕委員会よりご協力をお願いしておりました赤い羽根テーマ型募金に東クラブメンバー有志より、合計10万円のご寄付をいただきました。赤い羽根共同募金より感謝状もいただいております。ご協力ありがとうございました。

・今西　博　先週は歓送迎会をありがとうございました。大変楽しかったです。これからもよろしくお願いいたします。

・寺村　勉　今日は卓話の機会をありがとうございました。コロナみんなで乗り切りましょう。

・市川哲司　先日、税理士会のゴルフコンペで100切りを達成して優勝することができました。これも、奉仕の理想のおかげでしょうか。ありがとうございました。

・松本隆之　本日、弁護士会の会長の任期を終えることになりました。しがない弁護士に戻ります。

・ザ クラウンパレス新阪急高知　いつもありがとうございます。

◇遅刻・早退　３件

■高知東ＲＣ当面の日程

４月21日㈬　役員会
４月25日㈰　ゴルフコンペ（パシフィックＣＣ）
４月28日㈬　ロータリー休日
５月５日㈬　休会（国民の休日）
５月12日㈬　定例理事会
５月15日㈯・16日㈰　地区大会（サンポート高松）
５月19日㈬　第６回クラブ協議会・現新合同（城西館）
５月26日㈬　役員会
６月２日㈬　定例理事会
６月16日㈬　委員会活動実績報告
６月23日㈬　委員会活動実績報告　理事エレクト会（例会終了後）
６月30日㈬　最終夜間例会（ザ クラウンパレス）

■例会変更のお知らせ

高知北ＲＣ　４月26日㈪　ロータリー休日
高知ロイヤルＲＣ　４月27日㈫　夜間例会
高知西ＲＣ　４月30日㈮　ロータリー休日
高知中央ＲＣ　５月６日㈭　ロータリー休日
高知南ＲＣ　５月13日㈭　ロータリー休日
高知ロイヤルＲＣ　５月18日㈫　ロータリー休日
高知西ＲＣ　５月21日㈮　ロータリー休日

● ニコニコ箱 ●

	ニコニコ	チビニコ	合　計
先週まで	1,042,251円	13,801円	1,056,052円
３月31日	28,750円	140円	28,890円
今期の累計	1,071,001円	13,941円	1,084,942円

●会長／竹村克彦　●幹事／西森やよい　●雑誌会報委員／永野正将・関　淑公
●例会日／毎週水曜日12:30PM～1:30PM　●例会場／ザ クラウンパレス新阪急高知　(088)873-1111
●事務所／高知新聞放送会館６階　〒780－8572 高知市本町3－2－15　直通 (088)824-8660
ホームページアドレス(PC・携帯共通)http://www.kochi-east-rc.com
メールアドレス　事務局／hcrc@coffee.ocn.ne.jp　広報ＩＴ委員会／info@kochi-east-rc.com